

共立女子大学文芸学部報

梅沢恵先生
(芸術領域)
インタビュー

聞き手 福嶋伸洋

学生 の印象

—— 共立に着任されて今年で2年目ですが、学生の印象はいかがですか？

梅沢 10年ほど前に非常勤で出講していた頃の印象からあまり変わ

りません。学生は活発で元気がいい印象で、共立の校風なのかなと思っています。昨年は着任早々、学生の方から共立祭にゼミで参加

したいと提案をしてくれて、展示部門で2位に入賞しました。「観た

展覧会をみんなにお勧めしたいのでちょっと時間ください」といっ

て、パワーポイントを用意してきて展覧会の紹介をしてくれたり

そういう学生たちがいる共立はすごいなと感激しました。

—— 共立祭は学生からの発案だったのですか。そういう自主性が出てくるっていうのはいいですね

企画内容はどういう感じでしたっけ？

梅沢

日本美術に関するところで何か展示をやるという大枠はすぐに決まったのですが、具体的にどうい

うマの展示にするかについては演習の時間を使いながら話し合いを続けました。最終的には、日本美術に描かれた動物がテーマになったのですが、私はてっきり、よく美術館で夏休みに開催されているような動物の作品を集めた展覧会を想定していた

ら、学生の発想は逆で、



「あゝとずー」という動物園に行く」と絵の中から抜けてきた動物たちがそこにいるという。つまり、展覧会ではなく、動物園をつくる企画なのです。全然違う角度からの発想を突きつけてくる。なるほど、学生と関わるとこういうところが楽しいのだな、と思います。

専門のこと

—— 梅沢先生が研究の対象にされている仏教美術はお寺とかにあるものが多いのでしょうか？

梅沢 国宝や重要文化財などの指定品は、博物館、美術館に寄託されている場合が多いです。研究対象となる作品を美術館、博物館に申請して調査をさせていただくことが多いですが、悉皆調査に参加することもあります。

—— それはどう言う意味ですか？

梅沢 特定の地域や寺社などに所蔵されている文化財を全部出していただく、それを端から計測して、写真を撮り、それがいつ頃のものなのかを整理して目録を作成する作業です。私は、大学院生の頃に横浜市の文化財総合調査に参加させていただいて以

来、神奈川県立金沢文庫）になってからも継続し、現在も調査員を続けています。

—— それは誰かが最初にやるという感じですか？

梅沢 かつては地方自治体が主催する文化財調査が全国で実施されていました。私が大学院生の頃は、そういう現場がまだありました。先生に委託された調査に参加し、先輩たちから調査の服装から調書の取り方、調査先の振る舞い方まで学ぶ機会があったのですが、



—— いろいろおもしろいものが出てくるのですか？

梅沢 寺院の調査では、いわゆる「美術」という枠組みに収まらないものに出会うことも多いです。珍しい例では、「天狗の爪」や「人魚のミイラ」が、お寺の霊宝として大切に保管されていたりします。美術館では観ることがないと思います。でも、江戸時代まではそういうものも含めて寺院の霊宝だったことは開帳の記録などにも残されています。「日本美術」が誕生したのは明治時代のことですが、江戸時代にも「好古家」と呼ばれる古の遺物（縄文土器や埴輪、古瓦など）を愛好する人たちの蒐集品を載せた絵入りの書物もあります。現代とは異なる基準でアーカイブされたものを見るのも楽しいですよ。

—— 調査の依頼主は自治体の場合もあると、お寺の場合もあると、けっころお金も時間もかかるということですか？

梅沢 そうですね。所蔵者が調査費を負担できない場合もあるので、学術調査として科研費で調査したりもします。最近では、東京大学史料編纂所の一般共同研究に応募して「大般若経」という経典の調査もしています。600巻もある大部の経典なので、これまで多くの研究者、大学院生が参加して数年がかりで調査を続けています。

—— 調査の究極的な目的として、国内にあるすべての寺のすべての所蔵品を記録するということが目指されているのですか？

梅沢 それは不可能に近いですが（笑）。博物館学芸員の仕事が長かったので、目の前に出てきたものはとりあえず、何でも取り扱って記録する……そういう現場には慣れている方だと思います。

共立女子大学文芸学部報
第147号
発行日 2025年7月18日
編集・発行 共立女子大学
文芸学部
〒101-8437
東京都千代田区
一ツ橋2-2-1
発行責任者 阿部由香子
創刊 1968年12月
題字 遠藤慎吾
第二代文芸学部長

学部報に関するご意見・ご感想を以下のメールアドレスまでお寄せください。
gakubuho@kyoritsu-wu.ac.jp

学部報は共立女子大学公式HPの「文芸学部」のコーナーでもお読みいただけます。



第147号 主目次

- 第1面 梅沢恵先生
インタビュー
- 第2面 Stories
大学随想
- 第3面 俳壇・歌壇
学部長から
- 第4面 領域から
心象点描

「日本美術史講読」では信貴山縁起絵巻（平安時代の絵巻。信貴山の命運が起す奇跡を躍動感ある筆致で描く）を取りあげています。著名な国宝絵巻なので研究論文も多く、良質な文献を学生たちが分担して講読しています。あわせて、大学の図書館から絵巻の複製を借りてきて活用しています。本の図版で見てもなかなか理解できないところがあるので、現代ではなじみのない形態の巻子を実際に手に取ってもらっています。この複製、大学図書館の大型本のコーナーに惜しげもなく置かれているのです。なんと贅沢な……他の大学では複製も恭しく貴重書として配架されていることが多いので、学生がいつでも手に取れるのはすごくいいと思います。

2年生が中心の授業なので、美術史の論文の記述と作品の描写を丁寧に関わり合える作業を中心にしています。担当する文章を音読して専門用語を調べるだけではなく、皆で複製の絵巻を囲んで「著者はこの描線のことを言っているのだね」と一つ一つ確認しています。また、様々な分野の研究者が



—— あと、意外と思われるような趣味はありますか？
梅沢 ミーアキャットを飼っていることですかね。



飼うのは難しいですか？

梅沢 いわゆるエキゾチック・アニマルです。原産はアフリカで、サバンナで地面に巣穴を掘って暮らし、サソリなどを捕まえて食べる。かわいい見た目ですが、「サバンナのギャング」と呼ばれる荒っぽい生き物です。

—— エサはなんですか？

梅沢 雑食です。基本はキャットフードを食べますが、鶏肉やリンゴ、ブロッコリーも好きです。

—— たまにサソリを食べたいとか？

梅沢 うちのミーアキャットはサソリの狩り方を知らないで、捕まえられるでしょうね。コオロギは大好物です。

—— コミュニケーションはどのようなですか？ 感情の理解とか。

梅沢 機嫌がいいとか、不満だとか、何か要求しているなどというのはわかります。うちのミーアキャットは自分が群のリーダーだと思っているようです。いつも窓辺で「横浜の街はわたしが守っている」という佇まいで見張りをしています。サバンナでは空から狙ってくる猛禽が天敵なので、ヘリコプターや飛行機を見つけるとものすごい勢いで警戒音を発して教えてくれます。……なんだか、ミーアキャットの話ばかりになってしまいましたね。



Stories

長い耳

ぶにゃしめじ(文・絵)

待ち合わせの時間だというのに一向に返信の来ないDMに痺れを切らし、スマホの電源を落とす、ため息をついて見上げた屋外ビジョン広告には容姿端麗な女性が映し出されていた。広告内容よりも目立ってるんじゃない?と思うくらいに美しく、思わず目を奪われるような眩さを振りまいて微笑んでいる。薄く透き通るような透明感の肌、すらりとした身体、尖った耳。最近の広告はハーフエルフばかりだ。

長いこと伝説上の存在とされていたエルフが発見された、そう報道されたときにはどれほど世間が賑わったことだろうか。歴史の授業で聞いたことには、戦争になる

んじゃないか、なんて話もあったらしいが、そうはならなかったらしい。エルフは人間との共存を求めたし、人間はその美貌にすぐ心を奪われ、受け入れた。今では美人といえ長い耳だし、エルフの血が入っているってだけでモテる。エルフが現れる前のおばあちゃんくらいの世代には不評みただけで、トレンドなんてそんなもんだよね。

(あゝあ、パパかママがエルフだったら良かったのに)

こんなばやきだって何回思ったか分からないし意味だってない。どれだけ念じたって私の丸い耳は伸びないんだから。

そんなことを思っていれば、手を振りながら近づいてくる長い耳の彼が居た。

「おまたせ! ごめんね、昨日充電するの忘れて電源切れてて……」

「別に……」

怒っているか否かといえは嘘になる。こっちが何時間待ったと思ってるんだか……じとりと彼をみれば目を逸らして自分の白い頬を掻いている。まったくしかたのない人だ。

「そんな掻いたら跡になるよ、肌薄いんでしょ、ハーフエルフって」

「え? ああ……そうだね」

「しょうがないな……今回だけだよ?」

ため息をついて腕を絡める。な

んだかんだいっても許しちゃうんだけだね、ハーフエルフの彼女なんて逃すわけにいかないし。横断歩道を渡ってビルの隙間を通り抜ける。

路地裏のポスターにはひっそりと長耳整形の広告が張り出されていた。

なにもない

かなげつちよ

「テニスボールが一個見当たらんねえんだ。おまえ、見つけておけよ」

ボスのあいつが言ってきた。一人で掃除を終わらせ、帰ろうと校門を出たときだった。風邪をひいていたばくは、早く家に帰って休みたかった。数日前から学ランがなくなっていて、最高気温が一桁の中、ずっとワイシャツで過ごしていたのだ。でも、断ると何をされるかわかったもんじゃないし、家に帰ってもばくは邪魔者だから、結局あいつらの頼みを受けることにした。「互いを助け合える関係を築こう」だって? 笑わせるな。校門横に貼られたいじめ防止行動目標を見て、心の中でそう呟いた。

テニスコート周辺はもちろん、そこに隣接する校庭の植え込みに至るまで、学校の隅々を探した。しまいは、校舎裏の落ち葉が溜まった側溝に手を突っ込むなど、思い浮かぶ場所すべてを探しつくした。でも、ボールは全然見つからない。ばくは、垂れてくる鼻水をすすりながら校門に戻ってきた。昇降口の時計を見ると、とっく

に下校時間を過ぎていて、あたりは暗かった。仕方ない、帰ろう。ばくはすでに閉まっていた校門を開けようとした。が、開かなかった。よく見ると外鍵がかかっていた。ばくは閉じこめられてしまったのだ。



う思えてきて、目を閉じた。そしてなんと、ばくはそのまま死んでしまった。

なんてあつけない

死なんだろう。今日みたいなあの日と似た夜は、いつも思い出す。妙な色のライトと紫みがかった青黒い空で、真つ暗

気味だった。

あれからばくは、この中学校から出られずにいる。いや、次の日には校門は開いて、ばくは見つかっただ。けれど、未だにボールは見つからない。

ほんとはわかってる。きつとテニスボールなんて最初からなかったんだ。でも、ばくには居場所がない。そもそも、ばくのことを覚えてる人なんて、もう誰一人いないのだから。

その日の夜は冷え込んだ。雪は降らなかったものの、とても寒かった。ばくは、昇降口の黄緑色のライトの下に座り、体をさすった。スマホはあいつらに奪われてたから、外に連絡することもできない。こんなとき、普通の家なら、きつとお母さんやお父さんが血眼になって、ばくを探してくれるに違いない、なんて想像をした。だけど、多分ばくのお母さんは、ばくが帰っていないことにさえ気づいてないだろう。毎晩違う男を家に連れてきて、ばくのことをそつちのけ。そんなわけだから、もちろんお父さんはいない。

デジタルコミュニケーション

しらす井

二〇四〇年の春頃、オーストラリアから新種のウイルスが発見され大規模な拡散力とともに人々を襲った。それはレッドウイルスと呼ばれ、感染すると頭痛や吐き気、平衡感覚異常がみられる。重症化すると、長期的な高熱に苦しむ、最悪の場合は死に至る。特効薬はなく、瞬く間に世界中に広まり、人々を震撼させた。二〇四〇年以降の数年にかけて、ウイルス流行の波を繰り返しながら、新たな日常が定着していった。

二〇四五年現在、渡良瀬あずさは日本の大手お菓子メーカーの広報部に勤めている。レッドウイルス拡大後は一度も会社に出社し

ておらず、代わりにメタバース出社をする。レッドウイルス感染防止のために始まったメタバース出社だが、無駄な通勤時間を省ける利便性から、現在の新たな当たり前として広く受容され始めていた。ほかの会社では企業維持費を抑えるため、会社をなくすことも珍しくなくなってきた。メタバースでの言動はプラットフォーム上で半永久的にアーカイブ化されるから、みんな不用意なことはしなくなり、以前よりセクハラとかパワハラの問題は減り、こっそり仕事をさぼる人もいなくなった。もちろん、社員同士のコミュニケーションは不都合なく行え、映し出されるアバターはくつきりとしていて、肌のシワまで確認できる。わざわざアバターにシワや毛穴、シミをつけるわけがないのだけれど。

渡良瀬あずさが付き合う恋人は今野翼だ。社内メールのやり取りが度重なるうちに、仕事のミスをフォローし合う仲になった。二人が関わった企画書が会議で通った打ち上げとしてアバター通話をした際は、アバターのカッコよさに惚れこんでしまい、気づけば恋心を抱いていた。思い切って告白メー

ルをした後、晴れて付き合うことになり、そろそろ結婚する予定を立てている。デジタルタトゥーやリベンジボルの可能性があるため、ネット上でデータの写真を送ることや個人情報アップロードするのは憚られる世の中だ。あずさも翼も顔写真すら送っていないため、アバターの姿しか知らない。お互いがどんな素顔なのか時々考へるが、おそらく感染防止のため、今後会うことはないのだから、これから少しずつ、気にする必要がないものとしていくだろう。一

て家路についている。先日、二号館での授業に楽器を運ぶのが億劫だし、会おうと言わず、感染対策をと学生にこぼしたら、クリッカーで徹底している常識と安心感は彼の「機材をお貸しますよ」と言っ

て魅きとも言える。あずさは、二人ももらった。まさか学生も、本館からこれからについて考えてみようとしたか数メートル運ぶのを面倒がっているとは思わなかった。厚意に甘えようか、迷っている。私の研究室は、文芸学部の主

フロアではない十一階にあるため、行っていいらしい。子供は可愛く、好きだから、同じ年の男の子とされずにすむ。そう思っていたの

が、文芸学部のある助手から、レドウイルスは生活を変えて休みに入っても毎日のように出校して面食らった。国際学部の助手から聞いたらしい。たしかに鍵の貸

出簿だけを見れば、そう勘違いさ

れても仕方ない。彼女らはまさか、私がハリボーをほおばりながらMVを鑑賞するために大学に通って

いるとは思ってもみないはずだ。

今は亡き前学長の堀啓二先生は、教員はできるだけ大学に来てこの施設を活用するようにとおっしゃっていたようだ。私はかなり先生の意に添えているが、まさか私のような教

員生活を推奨しているわけではあるまい。滞在時間だけで測ると、一番の怠け者さえ働きの者に見えてしま

うのは、皮肉なことである。とはい

え、私のこの大学施設への愛はけっ

大学随想

あまり知られないようにしているが、大学によくいる方である。熱心なのかといえはそうではなく、怠け者の度が過ぎると、大学にでも来なければ仕事にならないのだ。たとえば音楽の授業で音色の違いを説明したくとも、家ではどうしたらして楽器さえ手に取らない。このままでは授業もおぼつかないから、しかたなく毎日のように研究室でベースを触り、今日も教材研究をこなしたと思っ

て家路についている。先日、二号館での授業に楽器を運ぶのが億劫だし、会おうと言わず、感染対策をと学生にこぼしたら、クリッカーで徹底している常識と安心感は彼の「機材をお貸しますよ」と言っ

て魅きとも言える。あずさは、二人ももらった。まさか学生も、本館からこれからについて考えてみようとしたか数メートル運ぶのを面倒がっているとは思わなかった。厚意に甘えようか、迷っている。私の研究室は、文芸学部の主

フロアではない十一階にあるため、行っていいらしい。子供は可愛く、好きだから、同じ年の男の子とされずにすむ。そう思っていたのが、文芸学部のある助手から、レドウイルスは生活を変えて休みに入っても毎日のように出校して面食らった。国際学部の助手から聞いたらしい。たしかに鍵の貸

出簿だけを見れば、そう勘違いさ

れても仕方ない。彼女らはまさか、私がハリボーをほおばりながらMVを鑑賞するために大学に通って

いるとは思ってもみないはずだ。

今は亡き前学長の堀啓二先生は、教員はできるだけ大学に来てこの施設を活用するようにとおっしゃっていたようだ。私はかなり先生の意に添えているが、まさか私のような教

員生活を推奨しているわけではあるまい。滞在時間だけで測ると、一番の怠け者さえ働きの者に見えてしま

うのは、皮肉なことである。とはい

え、私のこの大学施設への愛はけっ

こう深い。建築家の堀先生であれば、私の大学への態度も、それはそれとして認めてくださったことだろう。

(片山耕一郎・文化領域・准教授)





俳壇

題「夜」

働かぬ者にも眠れぬ夜はあり

五味澤瞳

春の夜の夢の浮橋きみの方へ

藤原達也

夕立や「アメリカの夜」恋ひ余る

藤原達也

黒鳥が居眠りをする夜の池

遠藤耕太郎

降るたびに融けて縮まり夏の夜

上野慎也

ちびちびと隠れ家で飲む夜明け前

生駒桃子

故郷より霞んで見える夜の星

柏瀬心雪

山肌も頬紅を差す花月夜

大宮夜之

筆簾や聖夜に響動堂に満つ

菊地治子

ぷかぷかと夜に浮かぶる月団子

北川千冬

薄明を追い越す夜と酷寒

大田万宝子

ねっとり汗が張り付く熱帯夜

ナーサン

テーマ「食」

蕎麦食えば凶が四回深大寺

藜

二合半で新そば手繰る淡路町

藤原達也

夢を食む虫と好みぞ解夏の午

藤原達也

古九谷の金継ぎ碗に新茶汲む

菊地治子

可惜夜に湯豆腐囲み無二の友

菊地治子

君刻む大根の拍今朝も聴く

北村弥生

きびなごの刺身酢味噌に桜島

上野慎也

夜一時ほっと一息即席麺

佐野 Y

会いたいな初めて寿司を握ったあなた

五味澤瞳

受験生鍋焼きうどんと寝れぬ夜

りんこ

星月夜銀河を味わう牛乳アイス

金賢梧

夜一人苦瓜食すが恋の味

青紫悠



ぶにゃしめじ

歌壇

題「海」

失った恋を探しに海へ行くそこにはなにも見えないけれど

花屋

この海が平家が滅んだ海だよあなたは言った煙となつて

アールグレイフィグ

寝転べば背中で海が生きていてフェリーで一泊眠れない夜

アールグレイフィグ

いくたびもみぎにひだりに水たまり新幹線が海を切り裂き

上野慎也

戦争を知らぬ子供の笑い声響き渡る美ら海水族館

大田万宝子

夕暮れで赤く染った海を見るまた来れるかなあなたはどうか？

こしひかり

娘からフェリーの写メール届きたり波立つ海や九州の風

湊一子

白兔社の丘の木の間より見ゆる海にも白波ぞ立つ

飯田さやか

春前の海の小径に流れ着きさくらのような海に佇む

豊永真里江

友人と朝から散歩清々しダイヤきらめく山望む海

鈴木美織

夜明け前浜に並びて海で釣り父と本音で話せる時間

桐ノ江



ぶにゃしめじ

テーマ「色」

さくら色、ミモザのブーケ、ジェルネイルあの子も春に塗り替えられた

花屋

理不尽にあれやれこれやれ言うけどさ、知ってる？あたし、パンツ虎柄。

花屋

白黒をつけむと騒ぐ世界かな私は今日も青いのですが

五味澤瞳

真っ白なキャンパスみたいな世界からブーケのようなきみ色になる

こしひかり

真っ白な電車を見たと言ったよね君はおそらく連れて行かれる

惑星 E 人

あれこれと思ひめぐらせはかなしこの世に色のなからましかば

上野慎也

青色と見てもあるのは青いものならば色はどこにあるのか

上野慎也

とりどりの紙切り抜きて双喜紋春間近なるゼミを彩る

藜

黒髪の子が好きだちょっと待てやっぱこの子も気にはなってる

遠藤耕太郎

ひと雫葉末をころがり淡く濃く宝石の色手に受けてみる

黒須貴志子

上京し新たな色に染まりゆく君の瞳にネオン照り映ゆ

桐ノ江

涼む夏外には青葉と青い空手には青いガリガリくん

ナーサン



学部長から

お仕事ものの韓国ドラマを何本か見ているうちに、登場人物が頻りに足を運んでいる場所があることに気が付きました。屋上です。仕事がうまくいかずに思い悩んだ時、大きな決断をする時、同僚から特別な情報を得る時など彼らは屋上で気持ちを变えていきます。カメラは大空や眼下に広がる街の風景とともに屋上に身を置く主人公の姿をとらえ、小さな体の中で起こったわずかな変化がその後のドラマに大きなうねりを起こしていくことを暗示させます。

「ドラマ創作」という授業を担当してきた過程で、場所の選択が作品の大きな鍵になることを実感してきました。ドラマの世界だけではなくののでしょうか。人がどこに身を置いか、置いてきたかは人生に大きく影響します。文芸学部での四年間を過ごして卒業していった皆さんの人々は今、どんな場所にいるのだろうか？と時折思いをめぐらすこともあります。

一方で宮藤官九郎のドラマ『あまちゃん』では「結局、場所じゃなくて人なんじゃないかなって思う」と主人公アキの母親である春子が口にする場面がありました。文芸学部という磁場は教員も助手も学生も個性的で魅力的な人間達を引き寄せてきたような気がしています。できればこれからもそうであってほしいと願っています。さて、あまり知られていませんが本館の屋上にはあがることが出来ます。季節によっては遠くの山が見えることもあり、気分転換におすすめです。

(芸術領域・教授 阿部由香子)



国内外問わず旅行が好きな両親のもとで育った私は、自分の意志に関係なく旅行している人生。海外だけでも30回以上はフライトしている。(冒頭からうるさい)このテーマを執筆するにあたり、どこでもいいのだ！結果、ハワイ婚：超々ヨカタ♡挙式当日は夫と交際9年目の記念日♡早朝4時からメイク開始。朝のビーチやダウントウン撮影のあと、いよいよ挙式！青い空、青い海、ダイヤモンドヘッドが見える好立地♡参

ハネムーンも兼ねて2週間滞在したハワイ、間違えなく人生で一番幸せだった♡写真コラージュする図々しさ。夫婦ともにフリー素材です！(言語・文学領域助手)



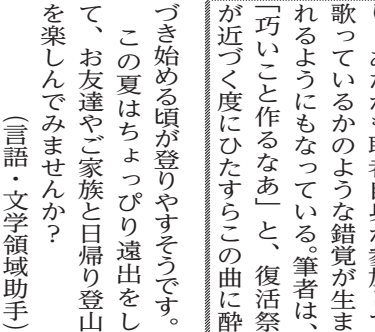
この夏はちよっぴり遠出をして、お友達やご家族と日帰り登山を楽しんでみませんか？(言語・文学領域助手)

今号の俳句、題「夜」の作品もしくはテーマ「食」の作品を募集したつもりだったのですが、「夜の食」を投稿してくださった学生さんがたくさんいました。それはそれでまあよかったのですが……募集要項が誤解を招く書き方だったかもしれせん。次号では初めて題「テーマ」なしの自由な作品を募集するので、またどしどし応募ください。(福嶋)

私がご紹介する旅先は、京都です。京都は、どの時期に訪れてもそれぞれの季節で違った表情を見せてくれますし、行くたびに新たな発見や体験ができる場所だと思います。何度訪れても飽きることありません。四半期に一回は必ず京都を訪れていたときがあったほど、京都旅行が大好きなのです。

の旅行をピックアップするか非常に悩ましく夜しか眠れなかった。悩んだ結果、思い出深いハワイをチョイス。というのも昨年ハワイで式をあげたのだ♡面白いことに、式をハワイで行うと決めたのも母。そう、私には意思がないのだ。(2回目)

と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)



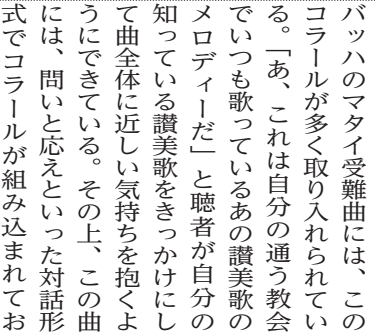
ですが、おだんご、味噌こんにゃく、豚汁、月見うどん、かき氷など、軽食スポットもたくさんあるため、毎回食べ歩きをしながらワイワイガヤガヤ賑やかに登っていました。四季折々の豊かな自然も高尾山の魅力のひとつです。もし時間があれば、ビジターセンターへの立ち寄りがおススメです。山の木々や草花・野鳥や生き物について説明を受けながら山頂周辺を散策するガイドウォーク、自然をモチーフにしたクラフトワークショップなど、季節や天気によって毎回違ったプログラムを楽しむことができます。高尾山は紅葉の季節が有名ですが、最近では国内外からの観光客が増えているかなり混雑している(ケーブルカー&リフトが長蛇の列！)ので、新緑の季節、葉が色

公に募集してはいないので、が、学部報の編集を手伝ってみたい方はぜひわたくしにお声かけください。また、イラストを描いてくださる方も常時歓迎です。

と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)

と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)

と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)



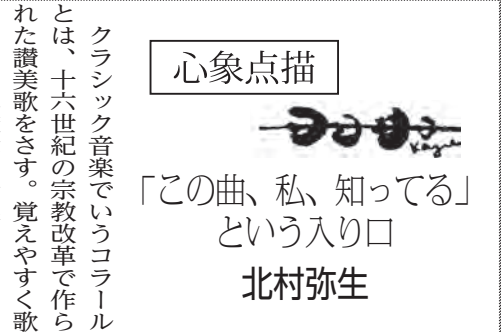
と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)

と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)

と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)

と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)

と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)



と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)

と、さらに充実した京都の一日が過ぎておすすすめです。是非今年の冬の旅行にいかがでしょうか。かなり気が早いですが、万博の影響もありですので、早め早めの旅行度をおすすすめします！(決して旅行会社の回し者ではありません！笑)(文芸メディア領域助手)